

Be Happy

Vol.12

Topic1 「世界人権宣言」をご存じですか？

世界人権宣言とは、1948年に国際連合によって採択された「すべての人と国が達成すべき共通の基準」です。採択から丸70年が経過した今、改めてその意義を振り返ってみましょう。

(1) 採択されたのはなぜ？

世界人権宣言は、2つの世界大戦に対する反省から生まれました。悲劇を経験し一人ひとりが尊い存在であることを再認識した世界中の人々は、人権尊重と世界平和への願いを込めて、この宣言を採択しました。

(2) 世界に与えた影響

世界人権宣言は、採択後世界各国の憲法に影響を与え、また多くの人権条約の基礎となりました。女性差別撤廃条約(1979年)や子どもの権利条約(1989年)なども、この宣言を実現する条約の1つです。

(3) どんな内容なの？

世界人権宣言は、前文と全30条の条文で構成され、全世界に共通する基本的人権の尊重に関する原理・原則が定められています。日本国憲法ともよく似た規定が多く、一度比較してみたいはいかがでしょうか。

経済的・社会的・文化的権利 (22~27条)

第23条 すべて人は、勤労し、職業を自由に選択し、公正かつ有利な勤労条件を確保し、及び失業に対する保護を受ける権利を有する。

市民的・政治的権利 (3~21条)

第19条 すべて人は、意見及び表現の自由に対する権利を有する。

基本原則 (1~2条)

第1条 すべて人は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。

人権保障一般 (28~30条)

第28条 すべての人は、この宣言に掲げる権利・自由が完全に実現される社会的及び国際的秩序に関する権利を有する。

Topic2 人権に関する3つの重要な法律

2016年に施行された人権に関する3つの法律をご存じでしょうか。ともに働く仲間を大切に、差別のない明るく働きやすい職場を築くためにも重要な法律です。今一度ポイントを押さえましょう。

(1) 障がい者差別解消法 (障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)

Point 障害のある人に対する「不当な差別的取扱い」の禁止と「合理的配慮」の提供を求めています。

(2) 部落差別解消法 (部落差別の解消の推進に関する法律)

Point 今もなお部落差別が存在することを明言し、行政施策と国民一人ひとりの理解を求めています。

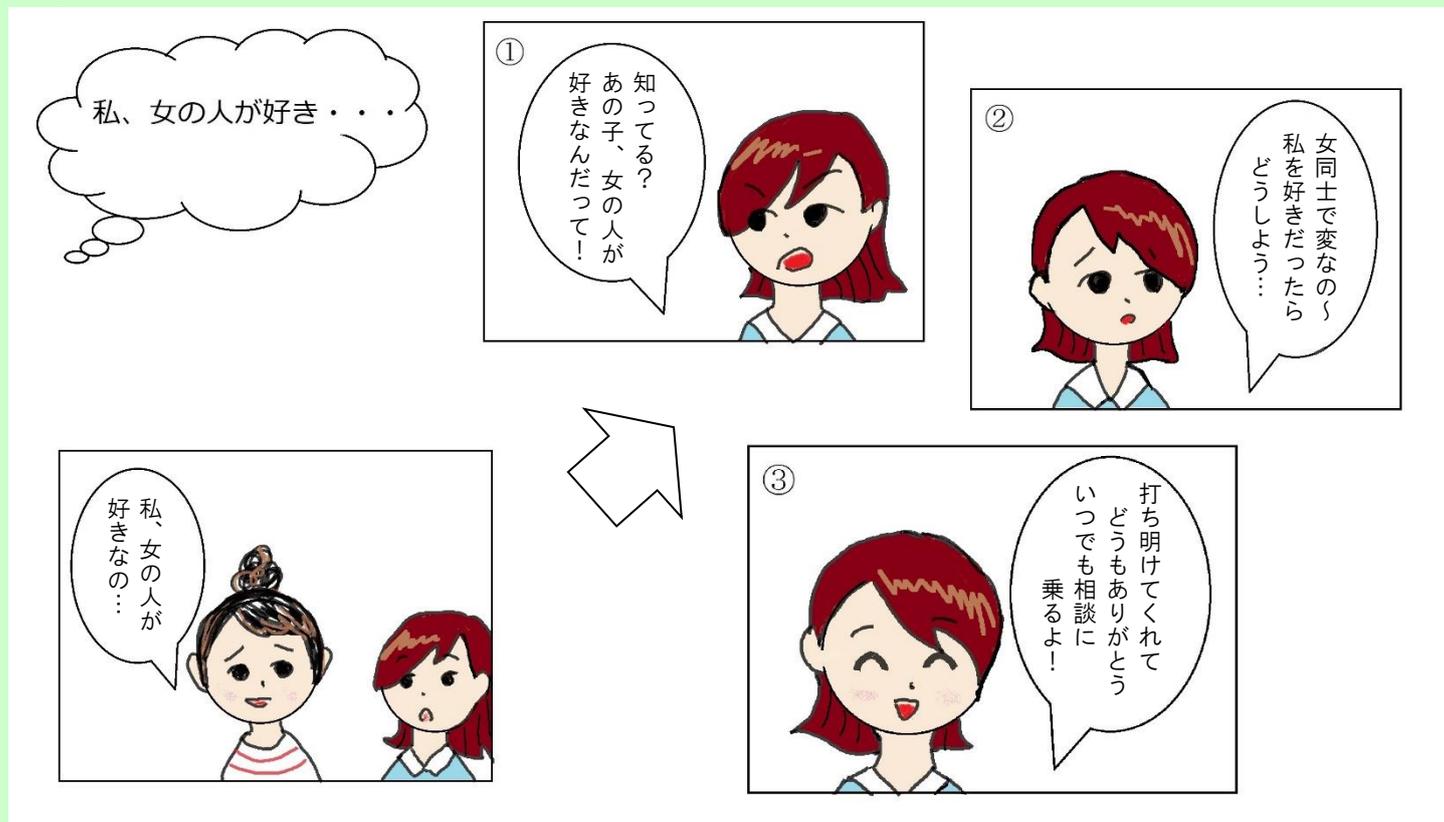
(3) ヘイトスピーチ解消法 (本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律)

Point 外国人に対する「不当な差別的言動」がない社会の実現を目指しています。
それぞれ立場の人に、以下のことを求めています。

- ①国民は、こうした社会の実現に寄与するよう努めること
- ②国は、差別的言動の解消に向けた施策(教育・啓発活動を含む。)を実施すること
- ③地方公共団体は、国との役割分担しながら、地域の実情に応じた施策を実施するよう努めること

※(1)については Be Happy vol.9、(2)については vol.10 でもう少し詳しく取り上げています。

Topic3 こんなとき、あなたならどうしますか？



はーとふるメッセージ 2018 (標語部門) 特選作品を紹介します

株式会社 アドバンス 湯浅 雅行さん 「思いやり 相手の立場で 考えよう」
ジョイン・セイティブ・システムズ・サービス株式会社 奥 真知子さん 「やさしさを もらって気づく 明るい未来」